



9月18日、久慈市に到着したアルヴィダス・ヴァイトクス市長らクライペダ市訪問団は、出迎えた遠藤市長や市職員から温かい歓迎を受けました。

19日は、市役所で姉妹都市締結35周年を記念した調印式を開催。駐日リトアニア共和国特命全権大使オーレリウス・ジークス閣下立会いのもと、両市長が姉妹都市関係を延長する同意書に署名しました。遠藤市長は「両市はお互いが苦しい時に助け合ってきました。今後は観光やビジネスでの関係も広がっていききたい」とあいさつ。ヴァイトクス市長は「協力関係を今後も築いていけることは嬉しい限りです。両市の関係がさらに発展するように頑張ります」と展望を述べました。

滞在期間中、訪問団は市内企業の見学や被災エリアの視察、座禅や茶道などの日本文化の体験をしました。秋まつりでは前夜祭でスピーチを行い、お通りの行列にも参加。多くの市民と交流を楽しみました。

リトアニア共和国クライペダ市・久慈市姉妹都市締結35周年

# 琥珀の絆は これからも

9月18日から21日までクライペダ市訪問団が来久。調印式や市内の視察を通し、お互いの友情と強い絆を再確認しました。



12 11  
1/姉妹都市関係を延長する同意書を掲げる遠藤市長（左）とクライペダ市長（中央）、立会人の駐日リトアニア共和国特命全権大使（右） 2/市に到着し歓迎を受けるクライペダ市訪問団 3/歓迎夕食会でクライペダ市の紹介を行うクライペダ市長 4/久慈琥珀博物館を見学 5、7、8/久慈秋まつり前夜祭でスピーチや餅まきに参加し観衆から大歓声。朋友会のみこしも担ぎました 6/令和元年度にクライペダ市を訪問した市民と夕食会 9/ケルンの鐘を鳴らし東日本大震災の被災者を追悼 10/長泉寺で座禅体験。クライペダ市長に喝を入れる訪問団員 11/久慈秋まつりのお通りで、クライペダ市旗を掲げるクライペダ市長と訪問団 12/福祉の村の茶室で茶道を体験



### クライペダ市の紹介

バルト海に臨むリトアニア共和国唯一の港湾都市。リトアニア最古の町の1つであり、国内第3の主要都市です。平成元年に久慈市と姉妹都市を締結しました。

- ▶面積…約110km<sup>2</sup>
- ▶人口…約15.7万人（平成26年現在）
- ▶産業…水産業、食品加工、パルプ業